

広報かがみいしを 皆さんに届ける

①行政区配布

この行政区配布が一番多くの方へ行っている方法で、3,650部を配布しています。配布方法は、職員が行政区長などへ配達し、行政区の中で配布してもらうというものです。皆様のご協力へ感謝です。

③ホームページ



ホームページ画面

町外などのお住まいで広報紙を読めない方のために町ホームページでも広報紙を読むことが出来ます。お知り合いや大学などで地元を離れているお子さんなどへ教えてあげてください。

広報かがみいしが発行となって、どのように皆さんのお手元に届くのかはご存知でしょうか？また、町外に住んでいる方なども広報かがみいしを読む方法についても紹介します。

②スーパー・コンビニにも配置

行政区へ加入していない方などのために町内のスーパー・コンビニや公共施設などに広報紙を配置し自由にお持ちいただけるようにしています。なお、役場の窓口でも広報紙を受け取ることが出来ます。

④ツイッター・フェイスブックでも



フェイスブック画面

若い方などをはじめ多くの人が活用しているツイッター・フェイスブックでも広報かがみいしが発行になったことをご知らせしており、そこから町ホームページを通して広報かがみいしを読むことができます。皆さん、「ういね！」をよろしく願います。

皆さんに愛される 広報かがみいしを 目指して

子どもから高齢者の方まで幅広い年代の方から愛される「広報かがみいし」。そして、町のことを知りたいと思った時は最初に思いつくのが「広報かがみいし」。そんな広報かがみいしになることを願って……。



皆さんから募集した笑顔で新年を飾った表紙（2014年1月号表紙）



これが表紙？というインパクトを与える表紙（2013年1月号表紙）

広報かがみいしは町の大切なお金で作られていることから、皆さんの役に立ち、楽しんでもらえるような広報紙にしたいと思っています。愛される広報紙を目指していきます。

広報かがみいしは町の大切なお金で作られていることから、皆さんの役に立ち、楽しんでもらえるような広報紙にしたいと思っています。愛される広報紙を目指していきます。

広報かがみいしは、創刊以来、皆さんに親しんでもらえるような時代に合った紙面構成を心がけ、少しずつ内容やデザインを変えながら発行してきました。また、内容だけが良い広報紙を作っても、手に取って読んでもらうことができないのであれば、本当に良い広報紙とは言えません。

広報かがみいしが できるまで



毎月第1木曜日発行で町の様々な情報や出来事を掲載している広報かがみいし。そんな広報紙がどのように作られているのかを紹介します。



広報かがみいしの 作業工程

「広報かがみいし」がどのように作られているか皆さんはご存知でしょうか？広報紙の作業工程は主に「企画・取材・撮影・レイアウト作成・文章作成・デザイン・紙面作成」となっています。リニューアル前までは、文章作成までを広報マンが手がけ、デザイン・紙面作成を印刷会社が行い印刷するという工程でした。リニューアル後の今月号からは、紙面作成までを広報マンが行い、印刷のみを印刷会社が行うようになります。このやり方は「DTP（デスクトップパブリッシング）」と言われる、大幅に費用を抑えることが出来ました。DTPとは自分でチラシを作成し、そのデータを印刷会社へ渡し印刷のみをしてもらうようなイメージです。



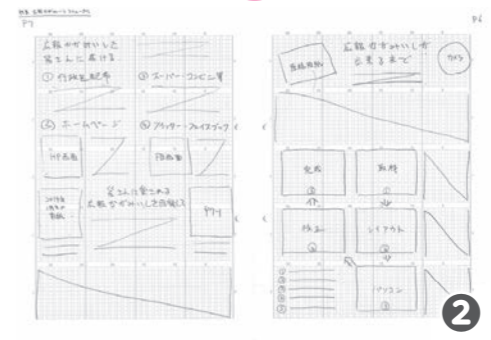
5 ページの取材の様子。この後は写真撮影へ。



1 5 ページの取材の様子。この後は写真撮影へ。



4 文章などに誤りが無いかチェックする校正。何回も校正することもしばしば…。



2 このページのレイアウト。自分の中でイメージを作成する。

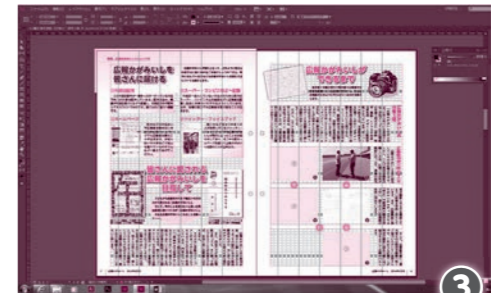
5 ページの取材の様子。この後は写真撮影へ。

2 このページのレイアウト。自分の中でイメージを作成する。

3 パソコンでの紙面作成。

4 文章などに誤りが無いかチェックする校正。何回も校正することもしばしば…。

5 紙面の完成。



3 パソコンでの紙面作成。

広報紙作成へ関わる人々

広報かがみいしを主に担当しているのは広報マンです。しかし、1人で取材や撮影は難しいため、広報マン以外の撮影に行ったり、業務の担当者

者が撮影したものを提供してもらい記事を作成したりしています。また、広報紙面に誤りがないかをチェックする「校正」は総務課の職員全員で行い、誤りのない広報紙の作成に努めています。

そして、広報紙作成に一番大事なことは取材や撮影へ快く協力いただいている皆さんです。これからも広報マンが取材や撮影に訪れた際にはご協力をよろしく願っています。